

科目	生命倫理学				
時間数	2単位 30時間	授業方法	講義	授業時期	1年
講師名	①大西 美智恵				
実務経験	①保健師(医療機関等)				
ねらい	実習で体験した具体例を通して、講義での学びを理解し、看護学生として倫理的な看護実践を追求する姿勢を育てる。看護学生のみならず、一生活者としての視点で倫理的な問題を考える態度を醸成する。				
目標	1. 倫理規範としてナイチンゲール誓詞を考えることができる 2. 基礎看護実習 I および II で体験した具体例を倫理的視点で振り返ることができる 3. 倫理的事柄を含んだ具体例をグループで話し合うためには、適切な言葉でその内容を表現することや、その事柄の背景について知っておくことの重要性を理解できる 4. 他のグループの発表から、倫理的問題について考える機会とすることができる				
授業計画					
回	内容				
1	倫理とは何か、看護倫理とは何かを理解しよう ・看護倫理の歴史を理解しよう ・ナイチンゲールとナイチンゲール誓詞について知ろう				
2	・看護の倫理原則を理解しよう ・看護者の倫理綱領について知ろう ・保健師助産師看護師法と倫理について考えよう				
3	看護者の倫理綱領とナイチンゲール誓詞を対比させよう				
4	テキストの事例から倫理理論について考えよう				
5	ナラティブ倫理 ・意見の相違からナラティブについて考えよう				
6	性と生殖の生命倫理 ・生命倫理の4原則を知ろう ・生命倫理と看護職の課題について考えよう				
7	死の生命倫理 ・死について考えよう ・死と医療について知ろう ・死についての生命倫理の課題について考えよう				
8	先端医療と制度をめぐる生命倫理 ・先端医療と生命倫理の課題について考えよう ・医療資源と医療保険制度について知ろう				
9	倫理問題へのアプローチ ・看護実践における倫理的問題の特徴を知ろう ・基礎看護実習 I での体験を倫理的な視点でまとめよう				
10	基礎看護実習 I で体験した具体例を倫理的な視点で振り返りまとめ、グループでディスカッションしよう				
11	グループでの話し合いの結果を発表しよう				
12	テキストの事例分析をしよう				
13	テキストの事例分析から、発表の内容を振り返り自らのまとめに反映しよう				
14	実習を想定したペーパーパシエントから、倫理的視点を学び、基礎看護学実習 II の体験のまとめに活かそう				
15	基礎看護学実習 II で体験した具体例を倫理的視点でまとめよう				
評価方法	実習 II の体験レポート(50%)、実習 I の体験レポート(30%)、グループ発表(20%)				
教科書	宮坂道夫他(2021) 系統看護学講座 看護倫理: 医学書院				